

平成 29 年 12 月 22 日

後衛の攻撃とは？

外部コーチ 岩澤 基

後衛の攻撃は、強いシュートボールを相手に打つと勘違いしている人が多くいます。テニスは、ポイントよりミスが多く、ポイントも相手ミスから取るのが非常に多いということを頭に入れてください。

<ポイントも相手ミスから取る>とは、次のようなことです。

- ① 前衛オーバーしたが、相手前衛にスマッシュされた。
➡相手前衛の SP ですが、実はロブミス。
- ② クロスにシュートボールを打ったが、相手前衛にボレーされた。
➡相手前衛の VP ですが、実はミドルに打ってしまったコースミス。
- ③ ツイストしたが、アタックされた。
➡相手の AP ですが、実はツイストが攻撃コースに打ってしまったミス。

つまり、後衛の攻撃とは、**相手ミスを誘うボールを打つこと**なのです。

<相手ミスを誘うボールを打つ>とは、次のようなことです。

- ① 相手を走らせて打たせる。(長短・左右振り回し、角度コース)
W 後衛ならば、長短・ミドル、角度コース。
- ② 相手を一直線にさせるところに打つ。(ミドルへのロブ)
- ③ 自分前衛の得意パターンの陣形になるところに打つ。
- ④ 相手の苦手コースに打つ。
- ⑤ 相手方の弱い方にボールを集める。
(強い方には、ボールを打たせない)
- ⑥ 相手が嫌う風を利用して打つ。
 - 相手が風上なら、長短・左右振り回しで BO を狙う。
 - 相手後衛が右横風なら、クロスを多用し SO を狙う。
 - 相手後衛が左横風なら、ストレートを多用し SO を狙う。



後衛が、どう攻撃するかを決めておけば、前衛は、相手ミスを誘うポジションを簡単にとれ、さらに前衛ポイントもたくさん取れるのです。

(前衛は、相手打つコースを狭めて SO/BO を取るポイントもあります)

後衛は、前衛よりボールにたくさん触りますので、打つ前の短い時間が勝負です。

打つ前に頭を使い、打つ時は頭を使わない(決めたことをするだけ)